

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 島津製作所
 コード番号 7701 URL <https://www.shimadzu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 上田 輝久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 三浦 泰夫
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 075-823-1128

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	263,327	11.4	25,437	15.9	25,660	13.6	18,031	13.9
29年3月期第3四半期	236,314	△2.0	21,945	△1.3	22,578	1.4	15,827	3.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 23,655百万円 (42.4%) 29年3月期第3四半期 16,611百万円 (10.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	61.19	—
29年3月期第3四半期	53.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
30年3月期第3四半期	395,395		258,557		65.3	
29年3月期	375,354		241,629		64.3	

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 258,203百万円 29年3月期 241,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	9.5	41,000	10.5	40,500	9.3	29,000	9.5	98.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	296,070,227 株	29年3月期	296,070,227 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	1,500,428 株	29年3月期	1,245,641 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	294,697,240 株	29年3月期3Q	294,834,332 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成29年11月7日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。

2.上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、北米では雇用環境の改善や堅調な個人消費により、景気の回復が続きました。欧州では英国のEU離脱問題などがあるものの、景気は緩やかに回復しました。中国では第13次5カ年計画関連の各種政策の効果もあり、景気は好調を維持しています。また、東南アジアでは景気を持ち直しの動きがみられ、インドでは景気は緩やかに回復しました。日本では企業収益の改善を背景とした雇用や所得環境の改善により、緩やかな景気回復が続きました。

こうした情勢のもとで当社グループは、2017年4月から新たな3カ年の中期経営計画をスタートさせ、「世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業」を目指し、「アドバンスト・ヘルスケア」など成長分野への投資、AI・IoTを活用したアフターマーケット事業の拡大や重点機種の競争力強化などによる収益力強化、また組織基盤変革など、成長に向けた施策を積極的に進めています。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,633億2千7百万円(前年同期比11.4%増)となり、営業利益は254億3千7百万円(同15.9%増)、経常利益は256億6千万円(同13.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は180億3千1百万円(同13.9%増)となりました。

セグメントの状況はつぎのとおりです。

I. 計測機器事業

北米では、化学・官庁向けの質量分析装置や製薬向けの液体クロマトグラフなどが好調に推移しました。欧州では、製薬・食品向けに質量分析装置や液体クロマトグラフが堅調に推移しました。中国では、食品安全、受託分析や環境規制分野が活況で、質量分析装置・液体クロマトグラフ・ガスクロマトグラフ・環境計測機器が好調に推移しました。東南アジアでは、官公需の停滞などにより売上が減少し、インドでは液体クロマトグラフが微増となりました。日本では、医薬・化学向け液体クロマトグラフや自動車向け試験機の需要が拡大しました。

この結果、当事業の売上高は1,608億5千2百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

II. 医用機器事業

北米では、多目的のX線TVシステムが堅調に推移しました。欧州では、X線TVシステムを中心に回復傾向が見られました。中国では、需要の回復および顧客ニーズに対応した製品ラインアップの強化により、X線撮影システムが好調に推移しました。東南アジアでは、強化機種の血管撮影システムが好調でした。日本では、診療所向けなどに売上が拡大しX線撮影システムが好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は455億1千7百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

III. 航空機器事業

北米では、ボーイング社の中・大型旅客機減産の影響により厳しく推移したものの、日本では、防衛省向け航空機搭載機器が増加しました。

この結果、当事業の売上高は193億5千8百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

IV. 産業機器事業

ターボ分子ポンプは、日本・北米・中国・欧州で、半導体製造装置・FPD製造装置向けおよび建材ガラス市場向けを中心に引き続き好調に推移しました。ガラスワインダーも、中国における電子基板・自動車・風力発電向けの需要が引き続き活況で、大きく増加しました。また油圧機器は、中国を中心とした建設機械および産業車両(フォークリフト)向けが好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は324億5千2百万円(前年同期比24.0%増)となりました。

V. その他の事業

当事業の売上高は、51億4千6百万円(前年同期比19.0%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の市況見通しにつきましては、海外では、着実な景気回復が続く米国、緩やかな景気回復が続く欧州、各種政策の効果により安定した経済の成長が見込まれる中国、景気が総じて堅調に推移している東南アジアなど、全体的に拡大基調の継続が予想されます。日本では雇用・所得環境の改善が続く中で、引き続き緩やかな景気回復が続くものと予想されます。

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況および上記のような事業を取り巻く状況を勘案し、2017年11月7日に公表しました予想を見直しています。

	通期予想		
		対前期 増減率	(参考) 前回公表時
売上高	375,000	9.5%	365,000
営業利益	41,000	10.5%	40,000
経常利益	40,500	9.3%	39,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	29,000	9.5%	28,500

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。その要因の主なもの、主要市場(日本、欧米およびアジア等)の経済状況、製品需給の変動および為替相場の変動などです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,698	66,928
受取手形及び売掛金	112,877	102,179
有価証券	-	20
商品及び製品	40,588	44,453
仕掛品	16,899	23,071
原材料及び貯蔵品	19,213	20,522
繰延税金資産	9,603	8,333
その他	8,342	8,672
貸倒引当金	△1,142	△1,368
流動資産合計	263,080	272,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,975	39,846
機械装置及び運搬具(純額)	5,904	6,024
土地	18,879	18,910
リース資産(純額)	2,510	2,769
建設仮勘定	628	1,313
その他(純額)	10,853	12,441
有形固定資産合計	78,751	81,306
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	13,779	17,433
長期貸付金	174	186
繰延税金資産	4,160	3,416
その他	7,535	12,045
貸倒引当金	△523	△534
投資その他の資産合計	25,126	32,547
固定資産合計	112,273	122,582
資産合計	375,354	395,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,263	60,791
短期借入金	2,963	3,090
リース債務	1,007	1,071
未払金	11,363	12,472
未払法人税等	4,870	2,611
賞与引当金	8,188	3,774
役員賞与引当金	275	195
防衛装備品関連損失引当金	484	484
その他	17,730	20,680
流動負債合計	104,147	105,170
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	648	915
リース債務	1,758	2,013
役員退職慰労引当金	184	173
退職給付に係る負債	10,708	12,020
株式給付引当金	-	56
その他	1,277	1,487
固定負債合計	29,577	31,667
負債合計	133,725	136,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	35,188	35,188
利益剰余金	174,391	186,231
自己株式	△885	△1,409
株主資本合計	235,342	246,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,850	8,196
為替換算調整勘定	△1,429	1,978
退職給付に係る調整累計額	1,568	1,369
その他の包括利益累計額合計	5,988	11,544
非支配株主持分	297	353
純資産合計	241,629	258,557
負債純資産合計	375,354	395,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	236,314	263,327
売上原価	141,646	159,269
売上総利益	94,667	104,057
販売費及び一般管理費	72,722	78,620
営業利益	21,945	25,437
営業外収益		
受取利息	177	175
受取配当金	209	338
受取保険金	85	102
為替差益	440	-
助成金収入	405	318
その他	416	443
営業外収益合計	1,733	1,379
営業外費用		
支払利息	83	94
為替差損	-	2
支払補償費	83	296
その他	933	761
営業外費用合計	1,100	1,155
経常利益	22,578	25,660
特別利益		
固定資産売却益	15	57
特別利益合計	15	57
特別損失		
固定資産処分損	92	109
投資有価証券評価損	-	66
減損損失	201	-
特別損失合計	293	175
税金等調整前四半期純利益	22,300	25,542
法人税、住民税及び事業税	3,483	5,935
法人税等調整額	2,944	1,513
法人税等合計	6,427	7,448
四半期純利益	15,872	18,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,827	18,031

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	15,872	18,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	632	2,346
為替換算調整勘定	△370	3,413
退職給付に係る調整額	477	△198
その他の包括利益合計	738	5,560
四半期包括利益	16,611	23,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,571	23,586
非支配株主に係る四半期包括利益	39	68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1)セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および営業利益又は営業損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	144,430	43,489	17,906	26,164	231,991	4,323	236,314	—	236,314
セグメント間の 内部売上高	50	7	63	57	179	1,104	1,284	△1,284	—
計	144,481	43,497	17,970	26,222	232,171	5,427	237,598	△1,284	236,314
セグメント利益 又は損失(△)	20,743	△114	247	1,839	22,715	501	23,217	△1,272	21,945

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	160,852	45,517	19,358	32,452	258,180	5,146	263,327	—	263,327
セグメント間の 内部売上高	29	13	63	87	194	1,219	1,413	△1,413	—
計	160,881	45,530	19,422	32,540	258,374	6,365	264,740	△1,413	263,327
セグメント利益 又は損失(△)	22,940	676	△153	2,937	26,401	496	26,897	△1,460	25,437

2) 関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
114,705	31,250	17,760	41,170	24,408	7,018	236,314

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
124,446	34,446	19,842	52,071	24,812	7,706	263,327

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 : アメリカ
 欧州 : イギリス、ドイツ
 中国 : 中国
 その他のアジア : インド、東南アジア、韓国、台湾
 その他 : オーストラリア、中近東、アフリカ